

24年度予算案 110兆円超

予備費削減で12年ぶり減

政府調整

政府は19日、国の2024年度予算案の編成で、一般会計の歳出（支出）総額を110兆円超とする方向

で調整に入った。借金の返済や利払いに充てる国債費と医療、介護などの社会保険費が増える。一方、新型

コロナウイルス禍や物価高への対応で用意した予備費を削減し、過去最大だった23年度の114兆3812億円から

度以来、12年ぶりに前年度を下回るが、2年連続で10兆円を超える巨額予算が続く。

鈴木俊一財務相と各閣僚が重要事項の取り扱いを決める「閣僚折衝」を19、20日に実施して予算案を固め、22日に閣議決定する。

去最大となる見通しだ。日銀の金融政策修正に伴う金利の上昇基調を反映す

る政府方針に沿って歳出抑制にかじを切る。しかし、歳入（収入）は税収だけ

賄えず、新たに多くの国債を発行する。財政悪化に歯止めがかかるない。

国債費は23年度の25兆503億円を上回って過去最大となる見通しだ。日銀の金融政策修正に伴う金利の上昇基調を反映する。